

サイト作りました

ayu-mushi

Published

2016-10-5

Last Modified

2016-10-5

Source of This Page(GitHub)

<https://github.com/ayu-mushi/ayu-mushi.github.io/blob/develop/src/article/new-site-is-started.mdk>

Contents

1. 作った	2
2. 自己紹介	??
3. 使った技術紹介	2
3.1. Madoko	??
3.2. Textlint	3
3.3. Makefile	3
3.4. Bootstrap	3
References	3

1. 作った

これからサイトをやっていきます。例えば記事とかを書きますよ。

この記事では、筆者のことで、サイトを作るときに使わせてもらった技術とを紹介します。

2. 自己紹介

ayu-mushiといいます。

Haskell、計算機科学などに興味があります。

あとは[トップページ](#)に使ってるSNSなどへのリンクが貼ってあるので見て下さい。

Section 2

3. 使った技術紹介

3.1. Madoko

Markdownに対し上位互換性があるマークアップ言語。 BibTeX、による参考文献の管理、 LaTeXによる数式描画、 amsthmのhtml版、 あらゆるもののナンバリングと参照(番号は表示しないようにもできる)、 をサポートしているため、 学術文書の執筆に適しています。

拡張性が高いです。 ちなみに、 設定は色々いじったのでこのサイトに変なところがあってもMadokoのせいとは限りません。

設定ファイルは[ayu-mushi.github.io/myprelude.mdk at develop](https://github.com/ayu-mushi/myprelude.mdk)・[ayu-mushi/ayu-mushi.github.io](https://github.com/ayu-mushi/ayu-mushi.github.io)・[GitHub](#)として公開されています。

引用の例。

、Madoko Reference[[@Leijen201604](#)]を参照。

見よ!

ぐへへへ[[@Leijen201604](#)]。

例えば、Madoko Reference(Leijen, [2016](#))を参照。 見よ!

ぐへへへ(Leijen, [2016](#))。

Section 3.1

数式とかも書ける:

$\sum_{i=1}^n$

\sum_i^n 同じソースからpdfもhtmlも出力できる。 テストとして、[サイト作りしました pdf版](#)としてこのページのpdf版をアップしました。 XeLaTeXであり、フォントを指定する必要がある。

[このページのソースはGithubにあります。](#)

- A
- B

定義項A

定義項B

1. A
2. B

Theorem 1. ()

Proof. すごい証明。

It is proof.

![]

[^1]: ちなみに、死

脚注!¹

madokoにmadokoのソースを入れると何か魔法の鏡の中で話してるみたい。

* リングウィルスプログラムから現実へ流出させるただ1つの昇階機
《Evaluator》

madokoにmadokoのソースを入れると何か魔法の鏡の中で話してるみたい。

- リングウィルスプログラムから現実へ流出させるただ1つの昇階機
《Evaluator》
- 死喰い人《デスイーター》
- 獅子《ライオン》

3.2. Textlint

3.3. Makefile

3.4. Bootstrap

References

- [1] Daan Leijen. “Madoko Reference.” Microsoft Research. Apr. 2016.
<http://research.microsoft.com/en-us/um/people/daan/madoko/doc/reference.html>. ↗

¹ちなみに、死